

**Q** 東京五輪の児童・生徒の観戦について

すぎた 杉田 やすゆき 恭之 議員



**A** 学校連携観戦チケットで観戦できるようにしたい

**問** 大会期間中の授業との関係は。

**答** 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、ほとんどが市内小・中学校の夏休み期間内に開催される。そのため、学校の授業があつて観戦ができないということはほとんどなく、各家庭で自由に観戦することができると考える。

**答** 運動部の地区大会が6月中旬に行われ、勝ち上がった学校は、7月から8月に行われる県大会、関東大会、そして全国大会へと夢をつないでいく。

この時期はオリンピック・パラリンピック競技大会の開催時期と重なっているため、それぞれの目標に向かって頑張っている生徒にとって、トップアスリートのハイレベルなプレーがよい刺激になると考える。

**問** パブリックビューイング等の催しは。

**答** オリンピック・パラリンピック競技大会に本市出身の選手が出場する際には、パブリックビューイングを開催したいと考えている。

子どもたちだけでなく、多くの市民の皆さんが集まり、地元出身の選手を応援できるようにする予定である。



オリンピック聖火リレートーチ

**Q** 地域支え合い協議会の取組について

おがわ 小川 しげる 茂 議員



**A** 各地域で助け合い隊などの活動が進められている

**問** コロナ禍における活動内容は。

**答** マスクの着用や対面を避けるなどの感染対策を講じた上で、庭の手入れ、ごみ捨て、部屋の掃除などの助け合い隊の取組は継続している。

**問** 活動の推進のための援助は。

**答** 鶴ヶ島市地域支え合い協議会等補助金交付要綱に基づき、事業費に100万円、運営費に30万円を補助しているほか、放課後子ども教室に60万円の補助金を交付している。

**問** 活動の成果と評価は。

**答** 助け合い隊の取組の広がり、高齢者をはじめとする市民が生き生きと住み慣れた地域で暮らすための安心材料の一つとなっている。また、福祉や防犯交流などの取組は、自治会よりも広域的に活動することにより、効果を高めており、地域の絆を深めている。

**問** 今後の課題と展開は。

**答** 市民センターを中心に、地域支え合い協議会、自治会、学校などの地域団体が連携し、地域活力を高められるよう目指す。

**問** 地域活動への期待感。

**答** 誰もが安心して地域で暮らせるまちづくりのため、地域支え合い協議会の地域に根差した様々な活動を期待している。



地域支え合い協議会が実施したウォークラリー